

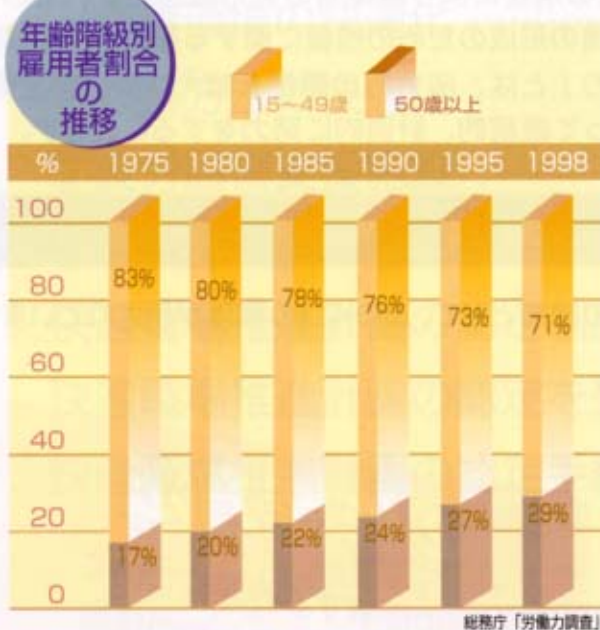
4. なぜ高齢労働者も働きやすい快適職場づくりが必要なのでしょう

① 高齢化社会の進展

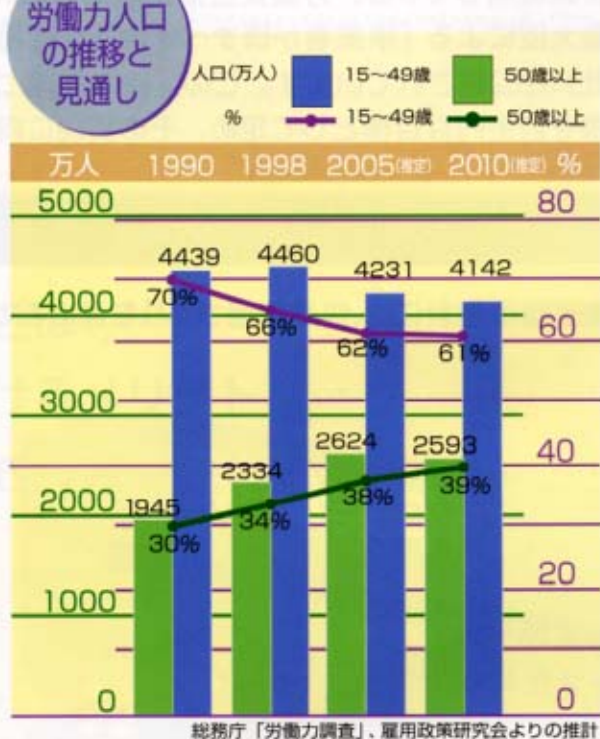
高齢化社会が進展しているなかで働く人の高齢化も年々進んでおり、1998年にはおよそ3人に1人は50歳以上の高齢労働者が占めています。そしてこの傾向は今後もすすみ、2010年には労働力人口のうち約40%、5人に2人が50歳以上の高齢労働者が占めると推定されています。

また、中高年齢層の多くは65歳位まで、あるいは年齢にこだわらず働きたいと考えており、今後労働力人口の高齢化が進む中、高い労働意欲を示す高齢労働者が、社会の中で生き生きと活躍できるよう快適職場づくりがますます必要とされてくるでしょう。

年齢階級別雇用者割合の推移



労働力人口の推移と見通し



望ましい退職年齢

